

習志野市前期市政経営プラン(案)パブリックコメント 提出された意見等の概要及びこれに対する市の考え方

1. 結果の概要

- ◆実施期間:令和7年11月15日～12月24日
- ◆受付件数:合計5件(3名)
- ◆意見件数:7件

2. 意見等の概要及びこれに対する市の考え方

No.	項目名	頁	いただいたご意見の概要	いただいた意見に対する市の考え方
1	前期市政経営プランの位置付け	プラン 9ページ	<p>「習志野市基本構想」には、次世代の担い手を育てるための教育・人材育成の強化が掲げられているが、青少年育成に関するプログラムは他市と比べて不足していると感じている。都内では民間団体と連携し、ジュニアリーダー育成など中高生向けの魅力的なプログラムを実施している例があり、参加した若者が社会人になってからも地域で活躍を続けているケースが多い。習志野市においても選択肢を増やし、青少年が地域の中でやりたいことを見つけられる場を増やしていくことを期待する。</p> <p>また、ユースセンターのように孤立を防ぐための居場所についても、駅近くなどアクセスの良い場所に整備されることを望む。</p>	<p>青少年指導者は変化する社会の中で青少年の健全な成長を支え、自立と豊かな人間性を育むための「環境づくり」と「伴走」を担うものであり、地域における青少年指導者の役割は今後益々重要になると考えております。本市におきましても、民間団体や地域で活動する青少年育成団体等と連携し、中高大学生向けのプログラムを実施するなど、青少年指導者の育成と若者が地域で活動できる機会の提供に努めてまいります。また、若者の居場所づくりにつきましても、若者に必要な要素や機能等について調査してまいります。</p>
2	No.1『市ホームページの導線整備』	進行管理表 1ページ	<p>このような市政経営プランがあるという事実の認知度が低すぎる。LINEやYouTubeで発信したところで、実際に見た人がどれ位いるのかが不明である。ホームページへの導線(件/年)も(人/年)に修正しないと、同一人物が年間数百回閲覧することも多々あるため実態を誤認する。私も市役所の電話番号を検索するためだけにホームページをたびたび訪れている。</p> <p>認知度を高めるためには、各地区ごとの小学校の体育館などで市民に対する対面での説明会を半年かけて行うなど、市側の努力が不可欠である。そのような取り組みなしに、「市民と行政の双方向によるコミュニケーション」は実現しない。市民の知らないところで物事が決められ、押し付けられるのは全く困ったことである。</p> <p>徹底したデジタル化については、情報が流出した場合にどうするのかを先に決めておくことが肝心である。過去には、年金情報が海外にネット上へ流出した事案や、マイナ保険証の仕様により他人の病歴情報が紐づけされていた事案があったが、国の政策では誰も責任を取らないという失態が生じた。これを繰り返すことにはならない。</p>	<p>市政経営プランは策定だけでなく、市民への到達と理解を確認することが不可欠です。そのため、LINEやYouTube等の発信に加え、効果を把握できる指標で検証してまいります。</p> <p>また、市ホームページの導線や閲覧状況の把握については、次期リニューアルに向けて改善を検討していきます。</p>
3	No.7『多様な分野での協働促進』	進行管理表 2ページ	<p>「地域づくりコーディネーター」などを育成し、経験値のある市民が他の市民を牽引していく仕組みがあればよいと考える。例えば柏市のような事例が参考になる。</p>	<p>ご指摘のとおり、経験や知見を有する市民が他の市民を支え、活動を牽引していく仕組みは、持続的な地域づくりにおいて重要であり、先進的な事例は参考になるものと認識しています。</p> <p>本市においては、今後、民間委託による中間支援機能の導入に取り組み、中間支援団体が有する専門的なノウハウや人材育成の知見を活用することで、地域づくりを担う人材の発掘・育成や、活動の伴走支援等を行い、ご意見の趣旨をカバーできるものと考えています。</p>
4	No.9『「新たな支え合い」の担い手の創出』	進行管理表 2ページ	<p>現行の市民参加型補助金制度は「正会員5人以上で構成される団体」のみが応募できる形式となっているが、今後、「地域が抱える課題や多様なニーズに合った、市民の理解が得られる事業」を行っている個人にも、こうした補助金の対象者を拡大していく可能性はあるのだろうか。</p> <p>定款を持たない市民団体や、地域のための個人活動をしている者も多く、こうした者は資金繰りに課題を抱えているケースが多いように感じている。しかし、地域のさまざまなニーズを直接的・間接的に解決するような優れた活動をしている者が多いのも事実である。資金面で問題を軽減することで、より「地域のためになる活動」に注力できる状況を実現できれば、結果的に市全体が活性化し、「住みやすい街」として広く認知され、定住者の増加などにより市の税収増加にもつながる。市民・活動者・市にとっての「三方よし」を実現しやすくなるのではないかと考える。</p>	<p>個人による活動については資金管理の透明性や継続性の担保といった観点から補助対象とすることが難しく、「正会員5人以上で構成される団体」を要件としております。</p> <p>一方で、定款を持たない少人数の市民団体や個人であっても、地域課題の解決や多様なニーズに応える有意義な活動を行っている事例が多いことも認識しています。</p> <p>今後、相談機能の充実や中間支援機能の導入により、多様な主体に対する伴走支援・ネットワーク化を行い、活性化を目指していく考えです。</p>
5	No.10『市民協働インフォメーションルームの業務委託』	進行管理表 2ページ	<p>市民協働インフォメーションルームの活性化に向けた民間委託に期待する。あわせて、委託内容の具体的な詳細を知りたい。</p>	<p>市民協働インフォメーションルームについては、より一層の活性化が必要であると認識しています。</p> <p>今後、民間委託による中間支援機能の導入に取り組み、中間支援団体が有する専門的なノウハウや人材育成の知見を活用することで、地域づくりを担う人材の発掘・育成や、活動の伴走支援等を行うことを予定しています。</p>

習志野市前期市政経営プラン(案)パブリックコメント 提出された意見等の概要及びこれに対する市の考え方

No.	項目名	頁	いただいたご意見の概要	いただいた意見に対する市の考え方
6	No.58『海浜公園・茜浜緑地等、公園の新たな活用』	進行管理表 6ページ	<p>市内の公園や公共施設などに設置されている蛇口について、今後更新(新しいものへの交換)を行う予定はあるだろうか。</p> <p>特に公園(トイレを含む)にある屋外の蛇口は、近年「ひねっている間だけ水が出る」タイプが多いが、子育て中の立場として使いづらさを感じている。砂場で遊ぶ年齢の子ども(未就園児など)は「自分で手をこすって洗う」ことが難しく、保護者が両手で子どもの手を動かして洗う形になりがちである。しかし、「ひねっている間だけ水が出る」タイプだとこの洗い方ができず、片手で何とか洗っている(十分に洗えていない)状況になってしまう。</p> <p>そこで、温泉施設などでよく見かけるような、一定時間・一定量の水が出続けるブッシュ式の蛇口へ変更してもらえないだろうか。そうしたタイプであれば、両手で子どもの手をしっかり洗ってあげることができ、公園でのピクニックなど食前の手洗いの場面で大変助かる。</p> <p>参考として、JR津田沼駅近くの「ザ・タワー」下の広場にある蛇口が同様のタイプであるため、検討の際に確認してもらえるとイメージが伝わりやすいと思う。</p>	<p>市内の公園に設置している屋外水栓およびトイレの水栓につきましては、経年劣化により破損したものをから順次交換を行っております。そのうち、トイレの水栓については、令和3年度にセンサーに手をかざすだけで水が自動で出る非接触型の水栓に交換しております。</p> <p>公園の水飲み場などの屋外水栓につきましては、これまで、汚れ等による不具合を防止する観点から、手動式(ひねっている間だけ水が出る)を導入してまいりました。</p> <p>ご意見のありました、ボタンを押すことで一定時間・一定量の水が出続ける水栓につきましては、遊び後の汚れや土、砂等が内部に入り込み、バルブが閉じなくなるなどの不具合が生じるおそれがあることから、これまで導入を見送ってまいりましたが、利便性や衛生面の向上につながるご意見であることから、今後、屋外水栓の故障等により更新を行う際には、使用環境や維持管理面への影響を踏まえつつ、導入について検討してまいります。</p>
7	No.58『海浜公園・茜浜緑地等、公園の新たな活用』	進行管理表 6ページ	<p>香澄と袖ヶ浦をつなぐ袖ヶ浦東近隣公園は、両地区の住民が交わる場として重要な公園であり、多世代が利用している。駐車場の設置、トイレ・水道・屋根付きベンチの増設、遊歩道の整備などにより新たな魅力を加えることで、さらに価値が高まると考える。</p> <p>菊田川沿い緑道も、屋根付きベンチなどの整備が進めば、水辺の憩いのポイントとなり、より親しみを持って場所になり得る。現在も多様な植栽があり、散策して楽しめる。</p> <p>香澄2丁目の元公園予定地については、有効活用(インクルーシブ遊具の設置、常設プレーパーク、市民農園、防災ベンチなど)や、新たな発想による活用を期待する。</p> <p>なお、当該空き地について、今後の有効活用の予定がある場合は教えていただきたい。</p>	<p>袖ヶ浦東近隣公園を含め、近隣公園の魅力の向上については、現在策定を進めている「習志野市緑の基本計画」において、地域の多様なニーズに対応した魅力向上・再整備を進めていくことと考えており、ご要望の内容も含め検討してまいります。</p> <p>菊田川脇の通路につきましては、管理者が河川を管理するための通路であり、一般的な道路や緑道とは異なり河川管理施設に位置付けられているものです。管理用通路においては、施設が通路を占有することによる幅員確保の課題や人が滞留した場合の交通安全上の課題などがあります。また、香澄2丁目3の(元)公園予定地については、第2次埋立造成時に将来的な公園予定地として千葉県企業局により整備された土地となりますが、現在、当該地を公園として整備する計画はありません。</p> <p>また、現在、当該地は普通財産として本市が保有しておりますが、現状今後の活用予定はございません。なお、当該地の一部につきましては、平成17年2月1日より防災倉庫用地として町会へ貸し付けております。</p>